

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

| | | | |
|-----|---------|------------------|------------|
| 学校名 | 伊志田高等学校 | 課程・学科 教育部門・学部 | 全日制の課程 普通科 |
|-----|---------|------------------|------------|

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に
応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組
み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立するこ
とをめざした学校づくりに取り組む。教育課程については、共通教科・科目を
中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切
な編成を行う。

これまで、自分の考えを表現し行動する力を身に付け、国際社会で積極的に
活躍できる人材の育成をめざし、思考力・判断力・表現力等の育成等に取り組
んできた。また、生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意
欲を高めることをめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求めら
れる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組んできた。今後も引き
続き、国際理解教育を継続し、国際社会で活躍する人材を育成する。

2 学校教育目標

憲法及び教育基本法に則り、学校教育法の定めるところに従って、中
学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて高等普通教育を施し、社
会について広く深い理解と健全な批判力を養い、個性の確立に努め、国家及び
社会の有為な形成者として必要な資質を養う。

3 計画策定時点での課題

- 学習した内容について、知識・技能について身に付けることはできるが、
自ら疑問を持つことやその疑問に対して深く調べたり、他の知識と結び付け
て考えたりするといった、知識・技能を活用する能力を高める必要がある。
また、探究活動において、文献や資料から情報収集し、それらを基に自身の
考えを深め、学校教育目標にあるように、「健全な批判力」をさらに高める
ことが課題である。
- SNSなどの情報伝達手段の発達により、生徒に今までになかった悩みや
課題が生じている。それらを解決に向けて生徒を支援する方法を模索するこ
とが求められている。

4 4年間の目標と主な方策

| | 視点 | 4年間の目標 | 目標達成に向けた主な方策 |
|---|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 教育課程 学習指導 | 情報化やグローバル化が進展し、人々が今まで経験をしたことのない社会を生き抜く資質・能力を育成するために、自ら考える力や自ら判断する力を身に付けるとともに、それらを活用する能力の向上を図る。 | 自らの問いを見出し、深い理解に結び付けるために、指導のねらいに応じて、授業での生徒の学びを振り返り、学習や指導改善に生かす。 |
| 2 | (幼児・児童・) 生徒指導・支援 | 生徒一人ひとりの個性、学校や家庭、地域で生徒を取り巻く環境を踏まえたきめ細かな生徒指導・支援を行う。 | かながわ子どもサポートドックなどを通して、生徒との面談を実施し悩みや課題を把握する。家庭と連携し、必要に応じて、SC・SSW、学警連、児童相談所や特別支援学校など、外部機関とも連携する。 |
| 3 | 進路指導・支援 | 生涯にわたって、どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るかを考えさせ、自己実現できるようにキャリア教育を充実させ、進路指導・支援を行う。 | 面談等を通して、生徒に自己の将来像について考えさせる。さらに、様々な進路行事を設定し進路についてビジョンを持たせる。 |
| 4 | 地域等との協働 | 学校運営協議会や保護者、地域の関連機関等と連携し、学校の教育活動をさらに充実させる。 | 学校運営協議会で学校の方針等について検討する。その方針のもと実施する様々な教育活動において、PTA、地域にある企業や大学などと連携し、生徒に幅広い体験をさせる。 |
| 5 | 学校管理 学校運営 | 事故・不祥事の防止に努めるとともに、生徒が安心して学習や様々な活動に取り組めるように、安全な環境を整備・維持する。 | 年間を通して事故・不祥事防止研修を実施する。 生徒が災害から自らの生命を守るために必要な態度を育成する。また、非常用物資の備蓄を管理する。日常では、清掃を徹底し、清潔で安全な学習環境を整備する。 |